

## ジャポニスム 2018 「能楽」公演、パリの観客を魅了 「リズムと所作の美の極み！」とパリが絶賛

フランス政府を代表し、ロラン・ベイル氏より、和泉流狂言方の野村萬さんが芸術文化勲章  
オフィシエを、観世流シテ方の梅若実さん、浅見真州さんが同シュヴァリエを授与される  
ジャポニスム 2018：響きあう魂



能『翁』（浅見真州）©KOS-CREA



©KOS-CREA 写真提供：国際交流基金

2018年7月よりパリを中心にフランスで開催中の日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018：響きあう魂」。その約70にも及ぶ公式企画では、さまざまな日本の芸術と文化を、古典から現代まで幅広く紹介しています。

ジャポニスム 2018の有終の美を飾る舞台の一つ、「能楽」公演（国際交流基金、日本経済新聞社、フィルハーモニー・ド・パリ主催）がパリのシテ・ド・ラ・ミュージックにて、現地時間2月10日に千秋楽を迎えました。

5日間計6公演にわたり、野村萬さん、梅若実さん、浅見真州さんら現代一流の能楽師が本格的能舞台上で日本文化の精髓である能楽を披露し、連日満席のなかパリの観客を魅了しました。

能楽の原点として別格に扱われる『翁』に始まり、恋をめぐる怨念が渦巻く『葵上』、優艶な敗者・平清経の悲しみを描く『清経 恋之音取』、夫の留守を預かる妻の恋慕から絶望へ至る『砧』と、能の傑作が上演され、狂言では人間国宝の野村萬らによる『木六駄』、『二人袴』が上演されました。

屋根・柱・橋掛かり・鏡の間付きの本格的能舞台、能装束、構成などすべてにおいて、これまでの能楽海外公演ではなし得なかったレベルの公演に、舞台を観覧したフェスティバル・ドートンヌ 芸術監督のマーリー・コランさんも「儀式的な要素の厳粛さを感じられた。荘厳な作品で、謡いの部分については叙情詩的な美しさが際立っていた。これほどまでに高い質の伝統芸能作品をパリで上演されたことに感謝。」と絶賛。

2月10日には、会場のシテ・ド・ラ・ミュージックにて、フランス共和国・芸術文化勲章の叙勲式が行われ、フランス政府を代表してロラン・ベイル フィルハーモニー・ド・パリ総裁より、野村萬さんがオフィシエを、梅若実さん、浅見真州さんがシュヴァリエを授与されました。フランク・リステール文化大臣からは、「ジャポニスム 2018 が大きな成功を収めていることに喜びの意を表し、また関係者の方々に御礼申し上げる。この機会に、能・狂言の偉大な演者お三方に文化芸術勲章を授与させていただき運びとなったことを大変嬉しく思う。」との祝辞が寄せられました。

### 芸術文化勲章について

フランス共和国文化省により1957年に創設された勲章で、芸術・文学の領域での創造、もしくはこれらのフランスや世界での普及に傑出した功績のあった人物、フランス文化の紹介者、普及の実務者や支援者が叙勲の対象となるものです。勲章にはコマンドゥール、オフィシエ、シュヴァリエの3段階があります。フランス文化省が推薦し、文化大臣が決定権をもつものです。日本ではこれまで川端康成さん、坂本龍一さん、松本零士さんなどが叙勲されています。

### 報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

## ■公演概要

- ・期間：2月6日（水）～2月10日（日）
- ・会場：シテ・ド・ラ・ミュージック
- ・主催：国際交流基金、日本経済新聞社、フィルハーモニー・ド・パリ
- ・協力：KAJIMOTO
- ・協賛：アサヒグループホールディングス株式会社、株式会社ぐるなび、新菱冷熱工業株式会社、SOMP Oホールディングス株式会社、ダイキン工業株式会社、寺田倉庫株式会社、日本通運株式会社
- ・出演：野村萬、梅若実、浅見真州 他

### ジャポニスム 2018 「能楽」公演 各氏コメントおよび劇評



#### 野村 萬（のむら・まん） 芸術文化勲章オフィシエを受章

和泉流狂言方

この度のバリ公演が多くの方々に支えていただいて成功裏に終わったことに厚く感謝申し上げます。

受賞は身に余る光栄。初のバリ公演は1957年、サラ・ベルナル座にて20代の時だった。それから60年の月日が重なって、この度の充実した公演になった。身に余る勲章をいただき、感激で言葉もない。来年は90才になるが、今後も一生懸命積み重ね続けていくことを誓ってご挨拶とする。



#### 梅若 実（うめわか・みのる） 芸術文化勲章シュヴァリエを受章

観世流シテ方

この芸術文化勲章の存在は以前より知っており、受賞の知らせを受けたときは本当に嬉しかった。

父も頂戴していなかったこの賞に認めていただいたというよりは、今後も頑張れという意味で頂戴したと思っている。今後も頑張る能の普及に努めたい。

©森山雅智



#### 浅見真州（あさみ・まさくに） 芸術文化勲章シュヴァリエを受章

観世流シテ方

国と国の合意に基づき行われたジャポニスム 2018 に稀に見る大型能楽団を率いて参加できたことを有り難く思う。今回「シテ・ド・ラ能楽堂」ともいべき立派な舞台ができたのは60年にも及ぶ先輩方の積み重ねによるもの。諸先輩の歩いてきた道を粗末にはできない。その意味においては、能の振興の第一歩であり、今後もより良い舞台を見せるための励みとしたい。



#### フランク・リステール仏文化大臣

ジャポニスム 2018 が大きな成功を取めていることに喜びの意を表し、また関係者の方々に御礼申し上げます。この機会に、能・狂言の偉大な演者お三方に文化芸術勲章を授与させていただく運びとなったことを大変嬉しく思う。

テレマ誌記事（抜粋）

リズムと所作の美の極み、力強さと魅惑：

浅見真洲が熟練の技を見せた「翁」を見る機会に恵まれた観客にとって、これは忘れ難い経験となる。

### 「ジャポニスム 2018：響きあう魂」とは

日仏友好160年にあたる2018年、両国政府間の合意に基づき、芸術の都フランス・パリを中心に、大規模な日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム2018：響きあう魂」を開催中。パリ内外の100近くの会場を舞台に、約8か月間に亘り、美術展、舞台公演、映画、その他食や工芸など日本人の日常生活により密着した文化までを含め、さまざまな日本の芸術と文化を、古典から現代まで幅広く紹介しています。会期を通じ、約70の公式企画を実施。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、日本文化の多様な魅力をパリに、またパリを通して世界に向けて伝えようとするものです。

会期：2018年7月～2019年2月

事務局：独立行政法人国際交流基金

公式ウェブサイト：<https://japonismes.org/>



ジャポニスム 2018

### 報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

## 報道向け提供画像および映像 **ジャポニスム 2018：響きあう魂「能楽」公演**

公演および叙勲式の画像・映像をご希望の際は下記事務局までお問い合わせください。

画像には下記のクレジットを入れてください。



以上3枚クレジット・・・能『翁』（浅見真州）©KOS-CREA



以上3枚クレジット・・・能『砧』（浅见真州）©KOS-CREA 写真提供：国際交流基金



以上3枚クレジット・・・狂言『木六駄』（野村萬）©KOS-CREA 写真提供：国際交流基金



以上3枚クレジット・・・能『清経』（梅若実）©KOS-CREA 写真提供：国際交流基金

---

### 報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp



以上 4 枚クレジット・・・©KOS-CREA 写真提供：国際交流基金

---

報道関係者からのお問い合わせ先：

(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央 (070-3190-3708)、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp